

第56回 病態生化学セミナー

日時：平成23年11月22日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 看護学科棟2階 N21 番講義室

演題：non-coding RNA 転写によるヘテロクロマチンの制御機構

Regulation of heterochromatin by non-coding RNA transcription

演者：北海道大学 先端生命科学研究院 教授

村上 洋太 先生

ヘテロクロマチンは、凝縮した構造をもち転写や組み換えが起こりにくい不活性なクロマチン構造として考えられてきた。しかし、最近の解析からエピジェネティックな遺伝子発現制御や染色体の維持において重要な役割を果たしていることが明らかになりつつある。分裂酵母はヘテロクロマチンのよいモデル生物であり、特にその解析からヘテロクロマチン形成にnon-coding RNAとそこから生じるsiRNAが関与することが示され注目を浴びてきた。我々は分裂酵母ヘテロクロマチン形成や機能にかかわる因子を多数同定し解析を進めている。今回は特にnon-coding RNAの転写に関わる因子とヘテロクロマチンの形成機能制御について、最新の知見を紹介したい。

【村上 洋太】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp